

## 算数・数学の授業における本時のまとめの在り方について

留萌管内の各学校においては、留萌管内の課題である算数・数学の授業改善について、取組を進めていただいているところですが、一単位時間におけるまとめの在り方については、課題が見られているところです。改善の視点として参考にさせていただきたいポイントを掲載しますので、今後の更なる授業改善に向け、改めて自校の取組を振り返る際に御活用ください。

### 【本時のまとめを充実する意義】

- ・児童生徒が本時の学びの手応えを実感
- ・新たな知識を学級の文化として共有

### 【本時のまとめを充実するポイント】

- ・児童生徒が本時のまとめに価値を実感できるよう、児童生徒の言葉を生かすこと

### 【本時のまとめを充実するための方策】

#### ①児童生徒の学び方に正対したまとめを構想する。

児童生徒が試行錯誤して考え抜いたとしても、本時のまとめが分かったことだけでは、児童生徒の学習活動にまとめが正対していません。本時の目標の観点や知識及び技能なのか、数学的な考え方なのかによって、児童生徒の学習活動が大きく異なることから、目標に応じて児童生徒の学び方を想定し、まとめを構想することが大切です。

#### ②児童生徒の自分なりのまとめを書かせてから引き出す。

児童生徒が自分達でまとめにたどり着いた手応えを実感するには、自分自身でまとめを考える場面を設定する必要があります。教師は、まとめを押し付けず、児童生徒のまとめを引き出すことが大切であり、児童生徒のまとめが不十分な場合は、間違いや不十分な考えを取り上げ、全体で考え合うなど、直ちに指導を工夫・改善することが重要です。

#### ③教科書の記載を確認し、不足した考え方を補う。

児童生徒が自分達でまとめにたどり着けない場合、教科書の記載を活用することが効果的です。教科書は、学級全体で共通の知識を共有したり、家庭学習と授業をつないだりするためにテキストとして有効であることから、授業と教科書との関連を児童生徒が実感することが重要です。

#### 引用・参考文献：「教育科学／数学教育」（明治図書H31年1月）

本引用・参考文献に、留萌教育局義務教育指導班指導主事が記事を掲載する機会をいただき、上記の内容を具体的な実践例も含めて記載しています。留萌管内の算数・数学の授業づくりの課題に対応したものになっておりますので、機会がありましたら、是非、御活用ください。

### 【研修資料】平成30年度小学校教育課程編成協議会の記録DVDの紹介

過日、旭川市において開催した本協議会の講座「新学習指導要領の全面実施に向けて」における説明（講師：学校教育局義務教育課主幹）のスライド及び映像データを保存したDVDを作成し、各市町村教育委員会へ送付しました。次の内容が収録されていますので、新学習指導要領の趣旨等を再確認する校内研修などを実施する際に、是非、御活用ください。

#### <内容>

1. 社会に開かれた教育課程
2. カリキュラム・マネジメントの充実
3. 育成を目指す資質・能力の明確化
4. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
5. 子どもの発達を支える指導の充実
6. 学習評価の充実
7. 具体的な教育内容の改善

